

平成24年度 VLBI 懇談会第2回役員会議事録

日時：2012年10月15日（月）16:00～18:00

場所：国立天文台三鷹 輪講室

出欠：（敬称略、順不同）

出席

（三鷹）面高、梅本、関戸、黒田、青山、高羽、藤沢、米倉、中井、三好、川口、名越、

（TV）中川、半田

（電話）松本

欠席：村田、徂徠

（以下記号は、(Q)uestion, (A)nswer, (C)omment を示す。）

1-1。機関報告

NICT（関戸）：資料に沿って説明。

茨城大学（米倉）：資料に沿って説明。

Q: スプリアスは水戸市方面からか？

Q: 資料にある2素子の結果にスプリアスは影響しているのか？

A: 資料の中の16 GHz は間違い、正しくは16 MHz。資料はスプリアス対策前だが、16 MHz 内にはスプリアス入らない。

Q: 周波数割当はわかっているのか？

A: 放送業務周波数割り当ては分かっている ([siryu20121015-3.pdf](#) 参照) が、送信源はまだわかっていない。

水沢 VERA 観測所（梅本）：資料に沿って説明。

C: 10周年記念誌：増刷中：必要な所に配布予定

C: 3市1村物品販売：盛況だった模様

Q: ユーザーズミーティングでの要望は？

A: 要望として上がったのは、Target of Opportunity 観測/6.7 GHz の本格 open/KVN + VERA の共同利用/広帯域観測などであった。

C: 記者発表の共著名について、論文著者はそれぞれ含まれているが、設立に奮闘された方々も記録に残しておくが良い。

筑波大学（中井）：資料に沿って説明。isolator が故障中である（復旧まで 2 ヶ月ほど）。強度校正装置が故障中（復旧まで 1 ヶ月ほど）⇒ VLBI で 1 偏波ならば観測可能である。

Q: pointing 精度の問題は X 帯でも影響あるのでは？

A: 現在確認中である。

Q: 新アンテナが出来た後の 32 m 鏡の利用は？

A: 国土地理院からの報告を参照して欲しい。

C: アンモニア観測について、鹿児島大学（鹿島 34m）との棲み分けなど。最優先は銀河面。

国土地理院（黒田）：資料に沿って説明。既存局の将来については検討委員会を設立して検討中。32 m は少なくとも 5 年程度維持する。他局は再来年以降維持が困難かもしれない。AZ レールについて問題が見つかっている。基礎のサンプリング調査を今後実施する予定である。レールスライパーは車輪が通る部分のみ「わだち」ができていたため一部しか当たらないなど問題が出ている。

C: VERA では現場でレールの「わだち」の脇を削って対応している。

C: NICT では今回の工事ではレールを取り外して、工場で削る計画である。レールカバーのおかげで、レールや基礎の劣化が遅くなっている。

山口大学（藤沢）：資料に沿って説明。

大学連携（藤沢）：資料に沿って説明。

岐阜（高羽）：資料に沿って説明。

Q: SgrA* イベントについて大学連携や VERA で観測する計画はあるのか？

A: 当事者から大学連携に観測提案を出してもらうように依頼中である。

極地研究所（青山）：資料に沿って説明。南極アンテナの後継機について検討中である。極地研究所単独ではなく、所外との共同で設置を検討できるのが望ましい。また、研究プロジェクトというよりも、インフラとして整備したい。

鹿児島大学（中川）：資料に沿って説明。亀野氏は ALMA 教授に着任予定である (H25/4/1)。論文は亀崎氏、James 氏 (34m, NH3, ApJ 投稿済み) などが出ている。

東海大学（松本）：特になし

1-2。事務局からの報告・連絡：資料に沿って説明。

Q: 学生幹事枠というものもあったか？

A: 現状は、名越さんは全国区幹事の1人である

2。シンポジウムについて

2-A：日程案

提案通りの日程で了承された。12/17-20の4日間を「学生Vコンシンポ」を含めて「Vコンシンポ」という形で開催する。

2-B：テーマ

特別セッションを設けるかどうか？将来計画は、宇電懇シンポにまかせるか？など意見が出された。天文に限らず測地も含めた将来計画を議論するセッションを設ける、ということが決定された。

2-C：シンポジウム世話人について

SOC：小山氏（NICT）、福崎氏（国土地理院）、永山氏（NAOJ）、新沼氏（山口）、半田氏（鹿児島）をSOCメンバーとして推薦することが決定された。

2-D：学生Vコンシンポジウム（名越）；資料に沿って説明。

12/17(月)PM-18(火)AMの日程で学生Vコンシンポを開催したい。11月初旬にサーキュラーをVコンMLに流し、11月中旬を締め切り、11月中旬プログラム作成を行う計画。特別セッション「KVN+VERA 観測開始に向けて」パネルディスカッションを開催予定である。

Q: 参加資格は？

A: 原則として学生のみ。

C: 学生Vコンのまとめの報告を、本体会合で行ってもらう。

C 最優秀講演賞・ポスター賞は、本体のVコンシンポの発表を対象とする

3。その他

3-1：キャラバンサブ（三好）：佐藤修二さんのところ光2.5m用の架台を使う予定である。詳しくは資料を参照。

3-2：スペースVLBIについて

C: 今後どうするのか、早めにまとめるべきではないか？

C: VLBI 運営小委員会でも議論する予定である。

3-3 : 連携予算会議

12月17日 PM~を第一候補として調整する。

以上